

# カブトムシの里づくり事業

—No.26 新座市—

## 【事業の目的】

市内の雑木林を活動のフィールドとして、カブトムシの生息できる環境を整備し、カブトムシが飛び交う雑木林のあるまちにいざのイメージを創出します。

また、市民の方々自らが、雑木林において作業を実施し、この作業の輪を多くの方に広げていくことにより、雑木林の存在意義を認識していただくとともに、次世代を担う子供たちにも参加可能な体制づくりを進めることで、雑木林を身近に感じていただく機会の創出も目的としています。

## 【事業の内容】

市内協力団体やボランティアによるカブトムシの里づくりやカブトムシのナイトツアーの実施、産卵場所を確保する堆肥柁づくり。

## 【事業年度】

平成18年度～

## 【予算額(千円)】

275千円（平成30年度）

## 【財源】

一般財源（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

新座市では、「雑木林とせせらぎのあるまち新座」をスローガンに掲げ、国指定の天然記念物である平林寺境内林を中心に、市内の雑木林を地域資源として捉えています。雑木林は人工林のため、人が手を入れ続ける必要があります。

そこで、市内の雑木林に野生するカブトムシを通じて、将来を担う子供たちにも雑木林に触れてもらう機会を作ることになりました。

## 【事業のPRポイント】

カブトムシの里づくり事業では、市内の小学生以下の子供たちを対象にカブトムシのペアを配付し、生まれた卵や幼虫を返却してもらい、翌年、新たに申し込んだ子供たちに、返却された卵や幼虫が成虫となったカブトムシを配布する循環型の取組を行っています。雑木林を身近に感じられる機会をつくるだけでなく、カブトムシの飼育を通して、子供たちに「命の尊さ」を学んでもらう機会となっています。

また、多くの市民やボランティア団体の方に協力してもらい、市民との連携により事業を進めています。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

〈平成29年度〉

- 町内会や体育協会に協力してもらい、小学生以下の子供たちを対象に、市内7か所でカブトムシのペアを配付しました。
- カブトムシのナイトツアーでは、子供たちと保護者が一緒に、夜の雑木林を探検しながらカブトムシの生態を学び、最後にカブトムシを受け取る体験型イベントを実施しました。
- 市内の雑木林に、9か所設置している堆肥柵のうち、必要に応じて修繕や整備を実施しました。
- カブトムシ累計配付数及び参加家族数〈平成19年度～平成29年度合計〉  
3,492匹、1,746家族に配付（年平均150～200家族が飼育）

〈今後の展開〉

新座の自然をいかしてボランティア団体等と連携しながら、カブトムシが生育できる環境を整備し、子供たちが自然を体験できる事業を実施してきました。今後も、カブトムシの里づくり事業を通じて、子供たちが地域への愛着を育むとともに、命の尊さを学ぶことができる取組を行います。

- 主な協力団体

市民ボランティア、町内会、商店会、市体育協会

## 【参考資料】

カブトムシの里づくり事業年間スケジュール

〔 連絡先 〕

シティプロモーション課 魅力創造係

048（424）4686

# カブトムシの里づくり事業 年間スケジュール

## 参加団体

市民ボランティア

町内会、商店会、  
市体育協会

子ども（小学生以下）

新座市



## 年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
カブトムシの 成育														
堆肥柎の 新設・補修														
堆肥柎の整備 (腐葉土の補充)														
打合せ会議の 開催														
イベントの 開催														
観察スケッチの 提出・展示														